

河合小学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

[日 時] 令和4年11月7日(月) 14:20～16:30

[出席者] (1) 学校側出席者 河合小学校校長、教頭、公民館長
 (2) 市側出席者 福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、
 福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

[訪問内容] ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
 ・足羽山どんぐりプロジェクトの実施

[講 評] ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な(身につけるべき)能力・態度

I	環境の取組	能力・態度	概念
	<<環境学習>> ・河合地区の自然環境・リサイクルについて、社会と総合的な学習の時間に学習します。 ・図書委員会が「環境の本コーナー」を設置し、環境保護について興味・関心をもたせます。	③、⑤、⑥、⑦	①、②、⑤、⑥
		所感 学校訪問当日は好天に恵まれたこともあり、教室での口頭説明とDVD視聴により「どんぐりプロジェクト」の趣旨や意義を理解してもらったうえで、中庭にて、美化委員会児童(5年生と6年生の計11名で構成)を対象に、3グループに分かれて、一人当たり2セットのどんぐり種子のポットへの植え付け作業を行った。 また、4年生を中心とする環境学習では、SDGsをキーワードに自分たちで調査し、タブレットによる発表まで実施していることは評価される。今後、そうした成果・発表内容が5・6年生にも視聴できるような態勢づくりを期待したい。	

Ⅱ	環境の取組	能力・態度	概念
	≪節電・節水等の取り組み≫ ・美化委員会が校内放送で、使用していない教室や廊下の照明をこまめに消す（節電）、水の出しっ放しがない（節水）について呼びかけます。また、節電・節水のポスターを掲示して、節電・節水の意識を高めるようにします。	②、④、⑤、⑦	③、⑤、⑥
	所感 学校訪問当日は、学校側（校長、担当教諭）から、環境への取組についての報告を受けたのち、意見交換した。 その後、学内巡視を行ったが、節電や節水を呼びかけるステッカーなどが見当たらないところが散見され、再度実態をチェックしてほしい。 なお、節電や節水等はとても地味な取り組みですが、今後とも、継続して行ってほしい。		
Ⅲ	環境の取組	能力・態度	概念
	≪地域と連携して分別収集・清掃活動≫ ・美化委員会がポスターを掲示して、ゴミの減量を呼びかけます。 ・美化委員会が、各教室に古紙回収ボックスを設置して、回収します。 ・親子奉仕作業で、地域の人と協力して、学校の清掃活動に取り組みます。	④、⑤、⑥、⑦	③、⑤、⑥
	所感 節電・節水と同様、地道な取り組みですが、今後とも、継続して行ってほしい。 また、コロナ禍で、地域の人々など学外の協力を得た活動には制約があるでしょうが、今後、再開の方策を検討してほしい。		
Ⅳ	その他の所感		
	環境改善への取り組みは多様なものであり、オリジナリティにこだわることなく、他の学校や団体等での取り組みであってもいいと思ったことは大いに真似て行ってほしい。 今後とも、公民館やPTAなど地域との連携・協力のもと、環境への取り組みを行ってほしいと考えます。 河合小学校は水田に囲まれた地域にあるが、児童が水田になじんでいるとは限らないので、その立地環境を活かして、水田の意義（食糧生産にとどまらず、地下水涵養機能など）を理解させて行ってほしいし、水田の体験学習への活用も検討してほしいと考えます。 また、どんぐりプロジェクトの一環として行っている、今回の児童によるどんぐり種子の植え付けは、児童間の発芽率競争を目的とするわけではなく、水やり等適切に管理しても、来春には、すべてが発芽するわけではないので、その結果の受け止め方（これが自然の摂理であることなど）について、児童に適切に指導・対応してほしいと思います。		

〔訪問の様子〕

